



白根健生病院が優勝 朝起き野球大会

二十八チームが参加し、熱戦を展開していた朝起き野球大会。八月二日、決勝戦が行われ接戦の末、白根健生病院が三対一のスコアでグリーングラスを破り優勝しました。

最優秀選手賞には白根健生病院の佐藤治夫さん、敢闘賞にはグリーングラスの和田義弘さんが選ばれました。

【成績】優勝 白根健生病院 準優勝 グリーングラス 三位



『日の出クラブ』ブラックパンサー

貴重な体験を 高校生の集いで

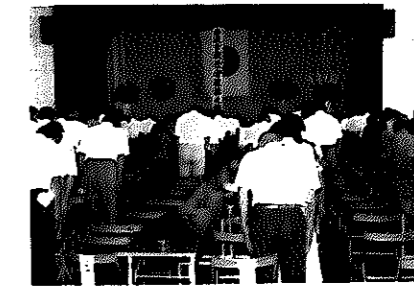
八月八日から二泊三日で、福島の国立警備青年の家で、市内に住む高校生二十二人が参加して、「高校生の集い」が開かれました。これは、仲間づくりと、社会人としての自覚を身につけてもらうと、毎年行われて



参加した高校生は、学校・家庭ではできない貴重なものを、この規律正しい団体生活を通して体験しようです。

めい福を祈つて 市戦没者追悼式

終戦記念日の八月十五日、産業厚生会館で、市戦没者追悼式が行われました。



た百八十人は、正午に一分間の黙とうをささげ、戦没者のめい福を祈り、そのあと地区代表による献花などが行われました。

鈴木木壇店と笹川さん が紺綬褒章を受章

市内の教育施設に多額の寄付をされた(株)鈴木木壇店と笠川周衛さん(東京都)が紺綬褒章を受章されました。



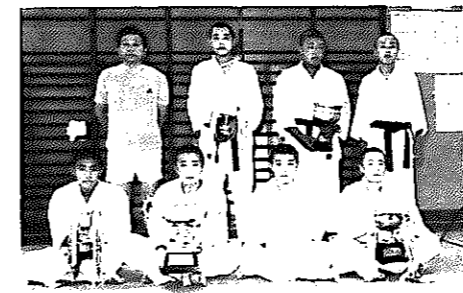
鈴木木壇店は、白根小学校に教材用として整理戸棚やカラーテレビなど、また笹川さんは、国旗掲揚塔を贈られたものです。

県大会でV3 白根一中柔道部

7月23日、長岡市で開かれた県中学校選抜総合体育大会で、白根第一中学校柔道部が圧倒的な強さで優勝、3年連続制覇の偉業を成し遂げました。

「体格はそんなに大きくないし、練習量も他校に比べ多くはありません。基本をしっかりやったことが良かったのでしょう。それに伝統の力もあると思います」と指導にあっている大倉作三郎先生は話していました。

8月18日、東京の武道館で開かれた全国中学生柔道大会に県代表として出場しましたが、惜しくも昨年の成績(ベストエイト)を上回ることはできませんでした。



上段左から大倉先生、松沢浩次君、浦野裕二君、渡辺 隆君、下段左から内藤 保君、伊藤正人君、小林健一君、池田智信君

市史 よもやま話

白根・新飯田の六斎市

「温古の楽」伝聞
市商は文武天皇(六九七)七〇七の御守に始まるとあり。当国駅月次の市口は上杉家領内、民間の便利を謀り、永祿十二(一五六九)、古例を延て定められ、其後大正十八年(一九二九)三月(二五九〇)潤色し、元和九年(一九二九)一月(一六二二)、松平越後守に於て改正ありしこと日記に見る処なり……白根は四・九の日、新飯田・葛塚・保田は五

十の口……

市商は七八世紀に始まる。越後の六斎市は十六世紀、上杉氏の時代に民間の生活物資入手、統治者の銭納、交通拠点の便利を自途に、形骸化した古代理の駅伝をテコ入れし、ついで潤色。十七世紀、幕政でさらに改正。白根は四・九、新飯田は五・十の口、月に六回、いわゆる六斎市として十六世紀以来続いていると……



現在の白根市(いち)

三条八代々本領にて、同名一族家臣各居構、郷二居候者多く候付て、在郷之面々ハ三条二指置て、三十日番帳にて木場へ物ル山、三条より木場へ九里有り、三条ツバメへ……
里、ツバメ白根へ四里、シロね木場へ三里、メ九里。三条城下五十嵐川の分流中川舟船にて木場の城下へ片時の内二往還スト云
中の口川沿いに三条・燕・白根・木場の駅(船付場)があつて定期船が一時間程で往復と。上杉氏は領国経営で六斎市を重視したことは周知の所。また兵員、物資などの迅速・大量輸送が要され、河川交通も重視。
白根・新飯田は小吉東島(小吉東島)住民の生活物資の入手のため六斎市が開かれたが、それは同時に上杉(小吉)氏の領国経営の施策の一端に位置づけられていたらしい。



球根の植えつけ

九月から十一月にかけて、アイリス、チューリップ、ユリなどの植えつけ期になります。あらかじめ庭や畑の予定を立て、植えつけの準備をしておきましょう。

よい球根を選んで

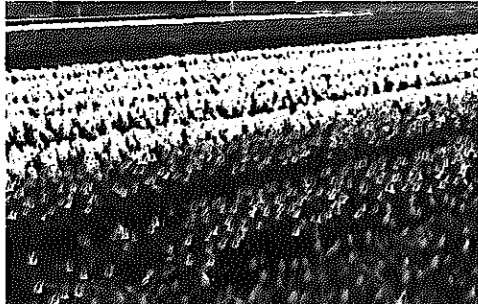
球根には、例外なくウィルスという悪い病気があります。花

同じところに植えない

球根は同じ場所に植えると、育ちが悪くなります。たえず場所を変えてやりたいものです。畝一枚の広さに、石灰を……

植えつけ期

アイリスは九月から、チューリップは十月から、ユリは球根が手に入ったら乾かさないうちに、なるべく早めに植えたほうがよいでしょう。
植えつけ期を過ぎても植えないでよくと、チューリップ、アイリスは根を出してしまえば、根が腐る原因にもなりません。きれいな花を期待して、今か



きれいに咲きみだれるチューリップ(戸石地内)

学校めぐり
校内キャンプには
父兄・卒業生を招待します
戸石小学校



活動が進められています。この学校の行事で特色のあるのが、毎年八月に行う校内キャンプです。夏休みの一日を、団体生活を通して自律、協力、友愛、奉仕などの尊さを体験してもらおうと行っているもので、今年で九回目を数えます。今年も四年生以上二十九人が参加し、おぼけコンクール、レクリエーションなどで楽しいキャンプになりました。また、キャンプファイヤーには毎年、父兄と卒業生を児童会で招待しています。スポーツ活動、特に水泳が盛んで、毎年行われている市内小学生水泳大会では、良い成績をあげています。学区民も教育への関心が強く、奉仕活動などにも協力的で地域ぐるみの教育が行われ、大規模校に負けない力強い学校づくりが行われています。卒業生は三つの中学校(白根、白根一中、小須戸中)に分かれて進学しています。



今年の校内キャンプ

市民文芸

俳句

鬼灯や母の面影鳴らしている
清水園石踏みふんで風涼し
しあわせは蟬の声聞き寝寂かな
青田行く渡る風有山の裾
二児の母となりてやさしき草花火
日盛りや錦鯉たわむる清水園
忙中閑土用湯に浸たり句にひたり
朝もきし茄子の紫紺の手を洗う
まず汗を流しロビーに喫う煙草

川柳

加せん箱の中で女神に会う葉書
故郷の安否訪ねてゆく葉書
急逝の昨日の影が拭ききれず
郵便夫喜怒哀楽を今日も話め
行商の汗を木影が吸つてくれ
コップ酒の味を知らない皇太子
さば読んだ年齢が早屈にする化粧
師の影を踏まずに生きた無骨者
母譲りの鏡胡座で娘の化粧
暑中見舞のはがきに鮎を泳がせる
子の無事を病いの母が書く便り

- 石田 豊一
- 針貝 静男
- 石田 豊美
- 田中 昭一
- 坪川 桐太郎
- 真保 清三
- 佐野 たけ子
- 中山 義英
- 須戸 義夫
- 長井 徳市
- 山岡 フミ
- 大井 義雄
- 後藤 まさの
- 吉川 未吉
- 吉川 彰
- 今井 七郎
- 岡村 清
- 中村 尚治
- 高橋 祐四雄
- 米野 光雄

新潟博覧会が中止に

上越新幹線の開通を記念して、来年7月3日から60日間、大通ニュータウンで開催予定の「新潟博覧会」が、新幹線の開業が11月に延びることになったため、中止することが決まりました。新幹線の開業遅延が来年10月までであれば、会期を若干変更しても開催する方針でしたが、11月に入ると気象条件が大きく変わり、この種のイベントを行うには条件が悪くなることと、観客や出展者にも迷惑がかかることにもなりかねないため、中止されることに決まったものです。